

新規事業の立ち上げを応援する 第21期 福祉たすけあい基金スタート助成

17団体に総額3,792,000円助成しました



助成団体情報は
こちらから

設立後間もない団体や既存団体による新規事業の立ち上げを応援する福祉たすけあい基金スタート助成は、最大3か年まで支援できる伴走型のプログラムです。

- **どたばた子育て応援隊** (横浜市金沢区)
障がいがある子もいない子も一緒に表現する「まんまる音楽劇」づくり
- **居場所づくり濱なかま** (横浜市港北区)
新しい拠点に地域の「ちょいボラ」を紹介する機能づくり
- **特定非営利活動法人 居場所 そら** (横浜市保土ヶ谷区) 3回目
公立中学校での放課後の居場所 「そらカフェ」
- **一般社団法人 ヨコハマ・インクルボッチャ・ラボ** (横浜市栄区) 3回目
楽しむボッチャの普及事業
- **one by ONE** (横浜市金沢区) 3回目
小児病棟における院内家庭教師、オンラインイベント企画
- **一般社団法人 かけはし** (横浜市泉区) 3回目
コミュニティカフェにおける若者の就労支援とこどもの第3の居場所づくり
- **テラコヤスペース** (相模原市南区)
アートのための多世代型スペース兼フリースクール
- **NPO法人 ぴあっと** (相模原市緑区) 2回目
相模原×こどもの発達情報サイト「みかた」の地域への浸透と内容拡充
- **NPO法人 ハビリテーションケア** (逗子市)
障がいの有無にかかわらず一緒に踊る楽しみを共有できる企画運営
- **まちライブラリー @ 池子** (逗子市)
空き家を活用した子どもと大人の居場所づくり・私設図書室事業「池子やまとしよしつ」
- **ザリガニ食堂の会** (平塚市)
子ども食堂から様々な地域の人たちの居場所づくり
- **ニコニコにじの会** (小田原市)
発達に特性がある子どもが意図的にいろいろな人と関われる場づくり
- **わわわのわ**
～みんなでつくる遊びと学びと暮らしの輪～ (茅ヶ崎市)
里山地域の「みんなの居場所」や「みんなの学び場」
- **一般社団法人 リトルハブホーム** (茅ヶ崎市) 2回目
学習支援兼軽食の提供「おむすび寺子屋」
- **特定非営利活動法人 ふじぼけ** (藤沢市) 3回目
一軒家をシェア賃貸した子どもの居場所
- **赤ちゃん食堂「ままな」** (高座郡寒川町) **訪問取材**
妊娠期の夫婦と離乳食完了期までの乳幼児と家族の居場所
- **一般社団法人 あそびの庭** (中郡二宮町) 3回目
誰でもどうぞ「はらっぱベース」

助成団体訪問

赤ちゃん食堂「ままな」(高座郡寒川町)

助成事業 妊娠期の夫婦と離乳食完了期までの乳幼児と家族の居場所

取材/記事 桜井 茜さん(湘南生活クラブ生活協同組合常務理事・2023年度福祉たすけあい基金選考部会メンバー)

赤ちゃん食堂「ままな」は、
コロナ禍がきっかけで
始まった



代表の菊地さん

代表の菊地愛美さんは天職だと感じながら勤務助産師として働いていたが、コロナ禍に直面し、厳戒態勢でのお産に違和感を覚えたという。退院後、1か月健診に来たお母さんたちはどこか元気がないように感じていたようだ。育児の情報源はネットからになり、周りとの交流も遮断され産後鬱の入り口に立っているように見え、人と接しないことがこんなにも育児に影響していることに驚いた菊地さんは、あえてコロナ禍に赤ちゃんとお母さんに特化した「赤ちゃん食堂」を始める決心をしたという。

その際、自分自身の子育ての経験だけを頼りにするのではなく、産前産後のサポートがどれだけ求められているか地域の保育園や幼稚園などを対象にアンケートを実施し、改めて必要としている声が多くある事を実感。実際1回目の赤ちゃん食堂は予約で満席だったそうだ。「今では希望者が多く当選待ちの状況です」と話す菊地さんだが、最初から順風満帆とはいかなかったようだ。



スタート当初(2022年)は、地域の人達の理解や信頼、支援などがなかなか得られず不安な事も多く、地域の人々の信頼を得る為には実績を積み上げるしかなく、実績がないところに信頼や支援は集まらないと感じたようだ。

「その実績は参加してくれたお母さんたちが作ってくれました」と話す菊地さんの周りには、今では協力してくれる方々が沢山!

今後は、活動の幅を広げるためにもNPO法人化を目指しているとの事。「まだまだやりたいことが沢山あるのですが、今は秘密です!」と楽しそうに笑っていた菊地さん。

温かみのあるその笑顔が、お母さんや赤ちゃんにも伝わって、周りに広がっていくことを今後も楽しみにしています。



離乳食メニュー



桜井さん

2023年度福祉たすけあい基金選考部会に参加して

自宅に分厚い申請書の束が届き、「こんなに資料を読まなければいけないのか」と思ったのが正直な感想でした。しかし資料を読んで、地域のために活動している団体が沢山あるという事を知り、みなさまからの毎月100円の寄付をその団体へ助成で

きる素晴らしさを実感しました。身近な地域でたすけあえる関係は、住み暮らしやすい地域づくりにつながります。自分の住む地域にもっと目を向け、たすけあいの支援の輪が広がるように今後も活動していきたいと強く思いました。(桜井 茜)

「生活クラブ福祉たすけあい基金」から「生活クラブまちづくり基金」へ

福祉たすけあい基金からまちづくり基金へ

継続の意思確認はお済みですか?

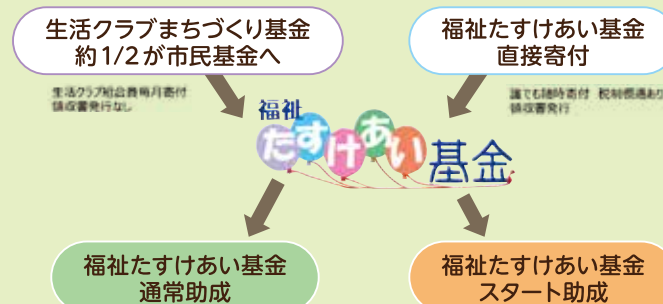
1ヶ月100円の寄付で地域の市民活動を応援する「福祉たすけあい基金」は10月より「生活クラブまちづくり基金」に変わります。すでに福祉たすけあい基金に参加されている皆さんは、市民基金から送られた意思確認のはがきの投函をお願いします。



詳細はこちら

地域の課題を何とかしたい市民の活動を市民寄付による助成で応援するしくみは、まちづくり・市民自治の一步です。子ども食堂、学習支援・不登校支援などに手を差し伸べる様々な活動を応援しましょう。

公益財団法人 かながわ生き生き市民基金 理事長 荻原 妙子

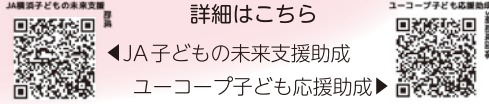


2023年度助成総額 12,856,000円

プログラム名	申請数	助成数	助成金額	寄付者
第20期福祉たすけあい助成	15	15	4,000,000円	生活クラブ福祉たすけあい基金
第21期福祉たすけあい助成 (スタート助成)	21	17	3,792,000円	生活クラブ福祉たすけあい基金
子どもの貧困に立ち向かう 市民活動応援助成	15	12	1,064,000円	市民寄付
JA横浜子どもの未来応援助成	14	13	2,000,000円	JA横浜寄付
ユーコープ子ども応援助成	47	43	2,000,000円	ユーコープ組合員の寄付

かながわ生き生き市民基金には、個人や団体、企業からの寄付を原資に、寄付者オリジナルの助成プログラムを作るしくみ「オーダーメイド助成」があります。23年度はJA横浜とユーコープからご寄付頂きました。選考にあたっては、寄付団体からも選考委員として参加して頂きました。

詳細はこちら
 ◀JA子どもの未来支援助成
 ユーコープ子ども応援助成▶



第2回 JA横浜子どもの未来支援助成

横浜市内の13団体に総額200万円助成しました

特別選考委員・

JA横浜組織部長 **小野英明さんからのメッセージ**

JA横浜は人と自然を大切に、社会の発展と豊かな暮らしに貢献する地域に根ざした農業協同組合です。「食」と「農」を基軸とする活動を通じて、人々の助け合いを育み、安心して暮らせる社会づくりに取り組んでいます。昨年より実施している「JA横浜子どもの未来支援助成」は市民活動を応援し、「子どもの貧困という社会課題の解決に向けて取り組んでいるプログラムです。

今回は、横浜市内で子どもの貧困問題の解決に向けて活動する非営利団体の中で、無料塾・フリースクール等の学習支援活動団体を助成対象とし、13団体に対して、200万円の助成を行うことができました。私たちJA横浜は、地域の将来を担う子どもたちのために、今後も貧困問題の解決に向けてひとつでも多くの市民団体を応援して参ります。



- ふれあいっこ三ツ沢 (横浜市神奈川区)
- (特非) バンブー学び塾 (横浜市港北区)
- みんなで学ぶ ぼんぼんたいむ (横浜市金沢区)
- NPO法人 神奈川区多文化共生の会 (横浜市神奈川区)
- 港北ユーステーブル (横浜市港北区)
- みんなの居場所 結 (横浜市金沢区)
- 子ども食堂ハレの日ケの日 (横浜市西区)
- NPO法人 パオパオの木 (横浜市保土ヶ谷区)
- NPO法人 宮ノマエストロ (横浜市泉区)
- TIEトマトマの会 (横浜市西区)
- NPO法人 子どもと共に歩む フリースペースたんぼぼ (横浜市鶴見区)
- (特非) 体験活動サポート開港場 (横浜市保土ヶ谷区)
- 横浜みどりの学校ひまわり (横浜市青葉区)

第3期 ユーコープ子ども応援助成

43団体に200万円助成しました

子どもの貧困や教育の支援のために、書き損じハガキ、未使用切手などの寄付活動による寄付をもとに助成を実施しました。2021年度から続いており3回目となります。

特別選考委員・生活協同組合ユーコープ バックアップ本部長 **櫻井展子さんからのメッセージ**

今回より「子ども食堂への助成」から「学習支援団体」まで幅を広げての募集としたところ、昨年を大きく上回る応募がありました。選考にあたっては、はじめての申請団体を優先しながら、各団体の取り組み趣旨や支援状況等を勘案し、少額ではあってもなるべく多くの団体に助成が行きわたり、取り組みの一助になることを大切にしました。選考する中で、地域の中に

「子どもの支援・居場所づくり」などをすすめる市民団体がたくさんあること、また、支援の在り方にはさまざまなスタイルがあることがわかり、気づきと学びの機会になりました。今回の助成により、ユーコープの組合員の皆さんの想いが、助成団体の皆様の取り組みを通じて、子ども達の笑顔につながることに期待しております。



荻原理事長よりユーコープ當具伸一理事長へ感謝状を贈呈しました。

助成団体

活動報告

みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ (藤沢市)

2021年11月設立 藤沢市北部エリアを中心に「子育て世代のおとなの居場所」や「子どもの居場所」を運営 鈴木 理恵さん

日ごろから、おとなも子どもも困りごとを相談することへのハードルが高いことが気になっていました。そしてコロナ禍、ちょっとしたすれ違いが大きなトラブルに発展してしまうことへの危機感から、「出会い、知り合い、雑談レベルで相談できる場」として「子育て相談付きアロマワークショップ」「軽食付き自習室」として活動をスタート。その後、「登校に関するおしゃべり会」「子育てひろば」「遊び場」「みんなの食堂」「生きづらさを抱える若者の居場所」など市内4ヶ所の居場所や、藤沢市子育て企画課と協働で、居場所

を始めたい方向けワークショップも始め、たくさんのご縁が広がっています。

保護者に寄り添いたい私と、子どもたちと過ごしたいスタッフが、互いのよさを活かしながら活動することで、何でもひとりで抱えるのではなく、自分のよいところを愛し、周りの人のよいところを活かしていたら心地よい空間になっていた…そんな体験ができる場を、引き続きゆるく続けていきたいです。



参加者募集

オンライン併用

第1部

第2部

相続セミナー & 個別相談会

日時 8月22日(木)

場所 オルタナティブ生活館 5階 まなびや

参加費 無料
 JR、横浜市営地下鉄、相鉄、東急「新横浜」駅より徒歩約7分



第1部:相続セミナー 13:30～15:30 定員 会場15名
 ★別途オンライン参加も受付

『相続の基礎知識～いざというときに困らないために～』

講師 金子大也氏 (金子税務会計事務所、公認会計士、税理士)



『遺贈寄付について』

講師 早坂 毅氏 (早坂毅税理士事務所、税理士、行政書士)



第2部:無料個別相談会 要 事前申し込み・お電話でご予約ください

①15:30～ ②16:00～ 先着順 各枠2名(計4名)

★第1部相続セミナー会場参加者から希望者対象(オンラインでの個別相談はできません) ★定員を超えた場合、当日ご都合がつかない場合は、専門相談員による無料相談をご利用ください。



- 相続について具体的によく分かりました。遺贈について知ることができて良かったです。
- 不動産の相続税計算方法が分かり参考になりました。
- 夫婦で参加したので、食い違っていた知識が修正され共有化が出来よかったです。

専門相談員による 相続に関する 無料相談

随時受付中

かながわ生き生き市民基金では、専門相談員と連携して相談に関する問題やトラブル、遺言、遺贈寄付など、相続に関する全般的な相談を実施しています。

無料相談をご希望の方は、電話でご連絡ください。弁護士、公認会計士、税理士、司法書士、行政書士の資格を持つ専門相談員にお繋ぎします。

※初回相談(30分程度)は無料です。それ以降は有料となります

相続セミナー & 個別相談会の申し込み・問い合わせは…



公益財団法人 かながわ生き生き市民基金
 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6階
 TEL:045-620-9044 info@lively-citizens-fund.org
 ※お電話の受付は平日9:00～17:00になります

